

編集後記

この学会に、私は失望している。歴史の進歩とは民主主義が徹底していくプロセスである、と私は理解している。民主主義には民意を反映した政策を実施していく政権が必要であり、また、政権は将来を見つめて正しい民意形成の環境作りをしていく義務がある。

省庁統合、ITERの国内誘致の是非。正月来、2回にわたり週末返上で大論争に参加した。東京でのITER検討会には350人もの研究者が集まった。歴史的な出来事である。本学会が一番関係深いのに、その分析などを学会誌に取り上げる様子がないのは残念である。もう、時期を失ってしまったのではないか。名古屋近辺の委員の方の労は多と感謝すれど、遠方の委員は年に2度の会議出席という制度のもどかしさを感じる。

省庁統合は3-4年も前からわかっていたことだ。文部、科学の省庁の枠を超えて省庁統合後の研究のあり方を民主的に議論できたのは、関係者の大多数が一会員として名を連ねている本学会の場しかなかったのではない

か。それを怠ってきたことのつけが正月来のガタガタである、と私は思っている。一会員としての私にもその責任はある。

出だしに書いた失望の最大の理由は、省庁統合後の日本の核融合研究推進を議論し、未来像を会員とともに作っていくはずの本学会が、会長の言葉を借りれば「そんなことしたら、学会が分裂するだけです」という言葉に象徴されている不健全さを実感したことによる。会員が議論を通して良識ある判断を見出ししていくとは思わない、ということであろうか。この学会には民主主義的な運営はまだ無理、つまり、「ボトム・アップで正しい研究のあり方が提示されるほど、会員の意識は高いレベルにはない」と判断しているからなのか。

これからは一つの省の下に核融合政策が進められる。本学会が会員の意見を吸い上げる場を積極的に企画していくように変貌するなら、私の失望感も少しは拭い去れるのだが。

(高部英明)

プラズマ・核融合学会役員

会 長	井上 信幸	副 会 長	伊藤 智之	佐藤 徳芳	常務理事	上村 鉄雄(総務委員長)
理 事	安積 正史(プログラム委員長)	井岡 茂	岡崎 隆司(財務委員長)	小川 雄一(編集委員長)		
	門田 清	河合 良信(出版委員長)	香山 晃	西原 功修		
	日野 友明(企画委員長)	藤原 正巳	松井 秀樹	松田慎三郎		
	谷津 潔	矢部 孝(広告委員長)				
監 事	西田 靖	山中 芳宣				

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディター 小川雄一(東大高温プラ)
 エディター 岡本正雄(核融合研)、菅井秀郎(名大工)、関子秀樹(九大応力研)、関 昌弘(原研)、田中雅慶(核融合研)、西村博明(阪大レーザー研)
 編集委員 赤石憲也(核融合研)、安藤 晃(東北大工)、伊藤智之(九大応力研)、大館 暁(核融合研)、奥野健二(静大理)、門田 清(名大工)、久保 伸(核融合研)、香山 晃(京大エネ研)、後藤純孝(日立)、近藤克己(京大エネ科)、齊藤輝雄(筑波大)、坂上裕之(核融合研)、坂本瑞樹(九大応力研)、白井 浩(原研)、新谷吉郎(東芝)、関根重幸(NEDO)、高橋 努(日大理工)、高部英明(阪大レーザー研)、西原功修(阪大レーザー研)、樋田美栄子(名大理)、藤堂 泰(核融合研)、中村圭二(中部大工)、長谷川 満(三菱)、羽鳥尹承(神奈川大理)、福本直之(姫路工大)、政宗貞男(京都工繊大)、升方勝己(富山大工)、松嶋 功(産総研)、横山雅之(核融合研)、吉村信次(核融合研)、米田仁紀(電通大レーザー研)、渡辺隆行(東工大原子炉研)

プラズマ・核融合学会誌第77巻第6号

編集・発行

〒460-0003 名古屋市中区錦2丁目20-20 7階
 社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会
 Tel. 052-231-4535 Fax. 052-231-7557

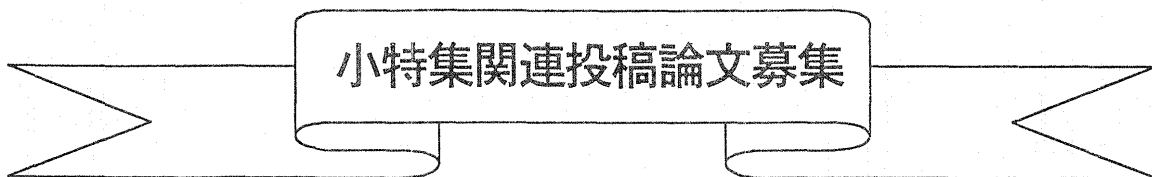
印刷 株式会社荒川印刷
 2001年(平成13年)6月25日

E-mail: jspf@nifs.ac.jp URL: <http://jspf.nifs.ac.jp/> 定価1,365円(本体1,300円)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は(社)プラズマ・核融合学会が所有しています。

編集委員会開催日について

当学会誌の編集委員会は原則として、毎月、第1火曜日に開かれています。但し、第1火曜日が休日あるいは5日以降の場合はその前週の火曜日に開かれます。



小特集関連投稿論文募集

プラズマ・核融合学会誌編集委員会では、以下のテーマでの小特集を企画しています。つきましては、小特集のテーマに関連する一般投稿論文（研究論文、レター、レビュー論文、研究開発ノート、技術開発ニュース、技術報告・技術資料）を募集いたします。この機会に、是非とも積極的な投稿をお願いいたします。

なお、ご投稿にあたりまして、投稿論文が小特集関連論文であることを、投稿票に明示いただくようお願いいたします。

ご不明な点に関しましては、下記学会事務局までお問い合わせください。

掲載予定号	テーマ	原稿締切
第77巻第12号	プラズマ中のカオス現象の理論、実験、シミュレーション	2001年7月31日
以降決定次第、発表します。		

問合せ先：〒460-0003
 名古屋市中区錦2-20-20-7F
 プラズマ・核融合学会 事務局
 Tel: 052-231-4535 Fax: 052-231-7557
 E-mail: jspf@nifs.ac.jp <http://jspf.nifs.ac.jp/>